

修学旅行@陸前高田

事前事後学習のご提案



&
Nature

株式会社And Nature（担当：藤井）
メール：info@andnature.jp
電話：03-5829-6361

事前事後学習に際して

修学旅行の意味、意義を見出すために

課題 1

生徒の不安・不満

「修学旅行、東北？
しかも被災者の家に
泊まるの？先輩は沖
縄だったのに・・・」

課題 2

被災地の「今」や 「リアル」は？

「震災の後、どう
なったの？どんな民
家に泊まるの？」

課題 3

震災学習の 「ゴール」が不明瞭

「別に私たちのとこ
ろに津波なんてこな
いしね・・・」

目指すステップ

興味がわき、 楽しみな状態になっている	陸前高田に行く 「意味」を 見出している	見るべき・学ぶべき 「観点」がわかっている	修学旅行の「経験」を 「体験」として 自分ごとに落とし込める
------------------------	----------------------------	--------------------------	--------------------------------------

お手伝いできること

1

講演会

映像や写真、ディスカッションを交えての講演が可能です。

① 震災、津波で起きたこと

例：クロスロードゲーム

「非常食を自分の家庭だけで食べるか、避難所にいる他の人にも配るか？」など、実際の経験談を元に問いかけがされます。聞き手は「YES」「NO」2種類のカードを用いて、なぜそう思ったのか意見を発表します。

② 陸前高田ってどんなところ？

③ 修学旅行で何が学べるの？

2

避難所運営ゲーム HUG

避難所で起き得る状況の理解と適切な対応を学ぶシミュレーション型訓練。

避難所運営を任されたという想定の下で、次々にやってくる避難者の状況や要望を考慮しながら、迅速かつ適切に対応する術を学ぶゲーム様式の体験学習です。

実際に避難所での生活を余儀なくされているニュースを見てもなかなか自分ごととして捉えることはできません。ゲームの体験を通じて、様々な気づきを得ることができます。

3

事前事後学習の 教材提供（無償）

ワークシートの提供や震災に関するビデオを貸出することが可能です。

事前学習ワークシートのテーマ

- ・ 東日本大震災の被害について
- ・ 陸前高田市について
- ・ 防潮堤の是非を問う など

事後学習では、ワークシートを用いて、学びを自分事に落としこむための振り返りを行います。

ビデオ

- ・ 釜石の奇跡
- ・ 遺体
- ・ 先祖になる

実施パターン ① 講演会 1回（修学旅行で何を学ぶのか、どんなところに行くのか？）
② テーマを変えて講演会 2回
③ 講演会 + HUG

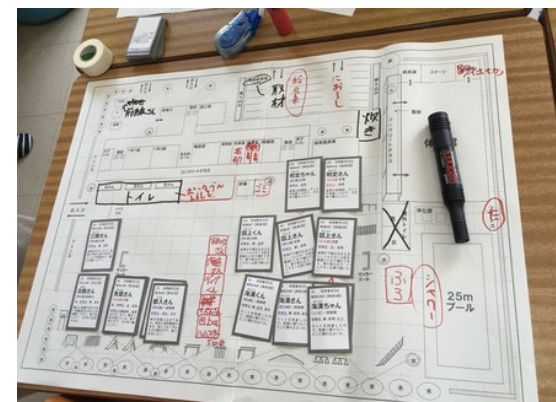
避難所運営体験HUGとは

1 避難所運営ゲーム(HUG)について

- ✓ 目的：防災学習とチームビルディング
- ✓ 避難所(H)運営(U)ゲーム(G)とは：避難所で起き得る状況の理解と適切な対応を学ぶシミュレーション型訓練。
- ✓ 概要：ある市の避難所運営を任されたという想定の下で、次々にやってくる避難者の状況や要望を考慮しながら、迅速かつ適切に対応する術を学ぶゲーム様式の教材。
- ✓ 班分け：男女混合、進行役1名、記録係1名、発表1名、他3名 計6名程度/班

2 スケジュール

- 30分 導入 前提条件、目的共有、アイスブレイク
- 60分 ゲーム実施 読み上げ係選出
- 30分 感想共有・発表



避難所運営体験HUGとは

時間	内容	ポイント	評価（観点・場面・方法）
導入 15分	<ul style="list-style-type: none"> • 本日の目的確認 • 過去の避難所の画像 	<ul style="list-style-type: none"> • 目的を明快にする • 避難所でどんな事が起こるか？ 	<ul style="list-style-type: none"> • 映像を見て体育館が避難所になった時にどんなことが起こるかを理解する
展開 45分	<ul style="list-style-type: none"> • 学校全体の平面図の紙を準備する • 15人分を並べて班ごとに作戦会議(読み手は説明を受ける) • 読み手が班に戻ったら一斉に開始 • カードが置けない項目などをポストイットや紙に書き出し貼っていく 	<ul style="list-style-type: none"> • HUGの説明 • 役割分担を決める(リーダー、読み手、記録係など) • 作業手順の説明 • 条件設定の説明(天候、災害の規模、発生日時など) <p>※カードの枚数は、条件により加減、又は、時間で区切り、まとめ作業に移れるよう時間配分に注意</p> <ul style="list-style-type: none"> • 読み手が止まらずに読み続けられるようにする • 班内での意見交換が活発に行われているかに注意を払う 	<ul style="list-style-type: none"> • 様々な条件を持った人達が避難してくる状況を理解する(理解力) • 次々と出てくる問題に対する判断ができる(判断力) • 運営者の立場に立って対応を考えられる(思考力・判断力) • 問題に対応することで配慮したこと・心掛けたことを理解する(対応力)
発表準備 10分	<ul style="list-style-type: none"> • 配置のルール • 配慮したこと • 取り組んで困ったこと • 取り組んでの感想 	<ul style="list-style-type: none"> • 外国人や高齢者・乳幼児などを何処に配置したか？ • ベットを連れた避難者の配置など 	<ul style="list-style-type: none"> • 班内の・高齢者や小さい子供達の世話など他者に対する心を養うことが出来る(他者理解) • 意見の共有と(まとめる力)
発表 20分	<ul style="list-style-type: none"> • 班ごとの発表 		<ul style="list-style-type: none"> • 他の班の発表を聞き自らの意見も述べられる(聞く力・考える力)
まとめ 10分		<ul style="list-style-type: none"> • 発表を踏まえて気が付いたことを伝える • 実際の避難所で起こりうる状態をイメージしておくことで、自分たちの役割について考えられるよう話をする 	

教材 (ワークシート)

- 1 最近ニュースで見た自然災害を思い出してください。どんなことがありましたか？

岡山の台風
熊本の地震
インドネシアの津波など

- 2 国連大学によると日本は「自然災害に見舞われる可能性」では世界で第_4_位

- 3 過去、日本において最も犠牲者の多かった自然災害を3つあげてください。

関東大震災 (1923年9月1日)
東日本大震災 (2011年3月11日)
明治三陸地震 (1896年6月15日)

- 4 東日本大震災の犠牲者数 (行方不明者含む)

死亡者 19,667名、行方不明者 2,566名
負傷者 6,231名、建物全壊 12万9340棟

- 5 南海トラフ地震が今後30年以内に発生する確率

政府の地震調査委員会は、今後30年以内の発生確率を「70%から80%」と予測

- 6 南海トラフ地震が発生した場合の被害予測

最大32万人の死者
建物全壊 238万6000棟

※参考記事

南海トラフ地震、減災徹底なら死者6万人に減少

https://www.nikkei.com/article/DGXNASDC2900C_Z20C12A8EA2000/

- 7 防災と減災の違いはなんですか？

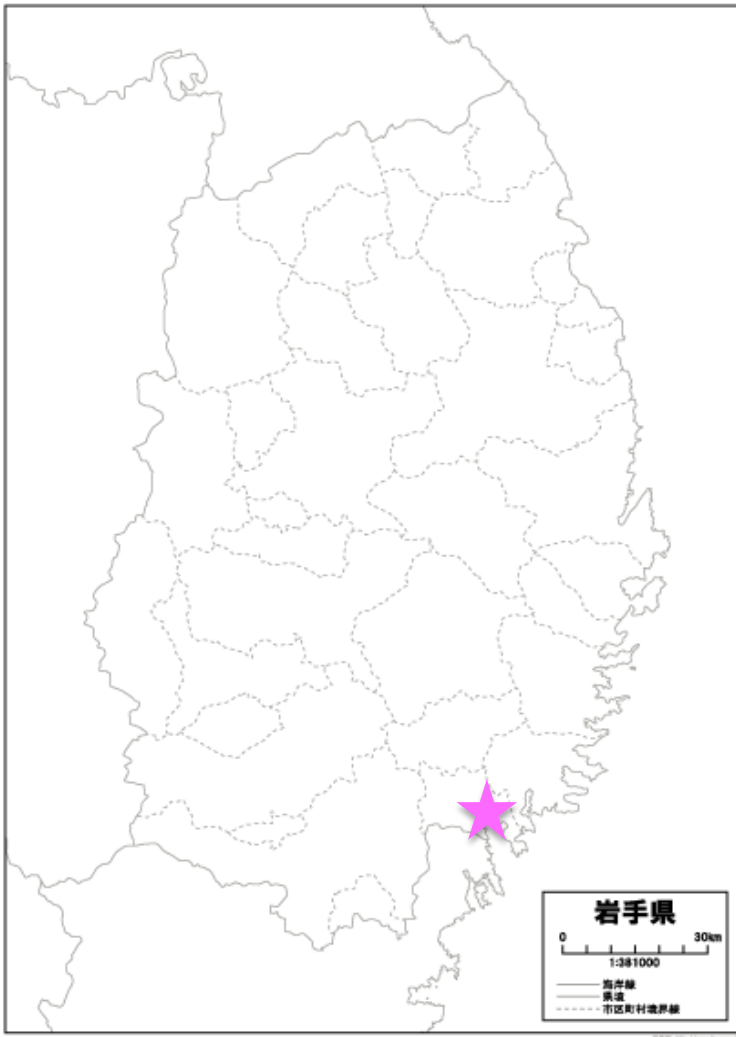
防災は、被害を「防」ぐという字をあて、被害を出さないことを目指す。

減災は、災害時において発生し得る被害を最小化するための取り組み。ある程度の被害の発生を想定した上で、その被害を低「減」させることを強調するものである。

教材 (ワークシート)

参照 <http://www.city.rikuzentakata.iwate.jp/shinsai/oshirase/hazard1.pdf>

- 1 陸前高田市はどこにありますか？
白地図に☆印をつけてください。



- 2 震災時、陸前高田市の人口は何名でしたか？

24,246 人

- 3 陸前高田市の震災の犠牲者は
何名ですか？（行方不明者も含む）

1,757 人

- 4 陸前高田市にきた津波は
最大で何メートルありましたか？

最大 17.6m

- 5 震災前、陸前高田の防潮堤は
何メートルありましたか？

5.5m (中心地)

- 6 陸前高田市が他の地域に比べて被害が
大きくなってしまったのは何故でしょうか。

参照 東日本大震災の対応と教訓 (市長)
https://www.isad.or.jp/pdf/information_provision/information_provision/h27/H27_sankouhoukoku3.pdf

教材（ワークシート）

1 皆さんはこれまでにどんな防災教育を受けましたか？

例 毎年、避難訓練をしているが、それ以外は特になし

2 今、想定外の災害（大地震、富士山の噴火など）が起きたとしたら、どこにどのように非難しますか？家族とはどこで落ち合いますか？食料や飲み物はどうしますか？

例 家にいるときには指定されている近所の避難所（公民館）

学校にいるときには、体育館に集まる

家には避難時の食料と水がある（1週間分）のでしばらくそれで賄う

3 「津波てんでんこ」とはどういう意味ですか？また、そこから学べることは何ですか？

例 てんでんことは各自のこと。海岸で大きな揺れを感じたときは、津波が来るから肉親にもかまわず、各自てんでんばらばらに一刻も早く高台に逃げて、自分の命を守れ—という意味だ。

【津波てんでんこ】の4つの意味

https://www.jsnds.org/ssk/ssk_31_1_35.pdf

家族などの大切な人も「各自、絶対に逃げている」という信頼があって初めて成り立つ。

事後学習ワークシート

民泊で感じたこと、何を学んだかを言葉にし、共有し、今後の自分への活かし方を明快にします。

1. 民泊について

- ① 民家の方にしてもらって嬉しかったことは何ですか？
- ② 民家の人のどんなところを素敵だと感じましたか？
(心のこと、仕事のこと、家族のこと、暮らしのことなど…)
- ① ②は、どうしたら自分もそうできるようになりますか？

2. まちについて（陸前高田と横浜）

- ① 陸前高田のいいところをできるだけたくさんあげてください
- ① 陸前高田の課題は何ですか？民家の人たちは何に困っていましたか？
- ① 陸前高田にあって、自分のまちにないものは何ですか？
- ① 上記③を踏まえ、自分のまちが10年後、どうなっていたら理想ですか？
- ① 自分のまちを理想のまちにするために、これから自分ができることはありますか？

3. 震災について

- ① 震災について、陸前高田のひとたちはどのようにとらえていましたか？
- ① 「つなみてんでんこ」について、どのように考えますか？
- ① （震災に限らず）災害にあったときに自分と近い人の命を守るために、今、できることはありますか？

4. 「根っこ」と未来の自分について

- ① 10年後、どんな自分になっていきたいですか？（夢、仕事、家族、住む場所など自由に）
- ① 上記は、何がきっかけでそう思うようになりましたか？具体的なエピソードをお書きください。
- ① 陸前高田で経験し、学んだことで、「なりたい自分」になるために役立つことは何ですか？

教材提供（映画）



※別紙、マニュアル及びワークシート有り

テーマ：津波避難の3原則

1. 想定にとらわれるな
2. 最善をつくせ
3. 率先避難者たれ

巨大津波から児童を守った岩手県・釜石市の「いのちの防災教育」に学ぶ！

東日本大震災で巨大津波に襲われ、1,000人を超す人たちが命を落としたり行方がわからなくなるといふ甚大な被害を被った釜石市。その中で、“奇跡”と呼ばれる出来事がありました。

地震発生当時、184人の釜石小学校の児童は全員下校しており、家で過ごしたり、海のすぐ近くで遊んでいたりしました。家で弟とゲームをしていた拓馬君、海岸で釣りをしていた6年生のグループ、ひとりで留守番をしていた大喜君...。「子どもたちは助からないかもしれない。」そう覚悟したと先生たちは言います。しかし子どもたちは、経験したことのない大地震の直後、日頃の防災授業や避難訓練を思い出し、大人顔負けの避難行動をとって自分たちの力で生き延びたのです。

子どもたちがどのように考え、判断し、行動したのかを振り返り、危機管理のモデルケースとしても各界から注目される「釜石の奇跡」を、ひも解きます。

教材提供（映画）



テーマ：人間の尊厳とは何かを考える

- ・2011年3月11日。日本を襲った未曾有の大震災の中で、報道では伝えきれなかった真実を描く映画。
- ・岩手県・釜石市にある廃校となった中学校の体育館を舞台に、遺体の尊厳を守りながらも一刻も早く家族と再会させる為に尽くした人々と家族を描く。



テーマ：困難を乗り越える人間の強さ

- ・陸前高田市で農林業を営む77歳の佐藤直志さんが、東日本大震災からの復興に孤軍奮闘する姿を追ったドキュメンタリー。
- ・2011年3月11日、佐藤さんは津波で家を流され、息子を亡くす。しかし、被災からわずか3日後にその年の米作りを決意し、5月には知人の田んぼを借りて田植えを始めていた...